

令和7年度 第2回長浜市社会教育委員会議 会議要点録

I. 開催事項

日 時 令和7年11月13日（木）午前10時から午前12時まで

場 所 神田まちづくりセンター 会議室2

出席者 ○長浜市社会教育委員（11名）

大橋松行委員、神部純一委員、森川裕子委員、藤居みよし委員、片山ひろみ委員
磯崎真一委員、大谷隆委員、鈴木一平委員、清水峯生委員、北辺禎雄委員、
水谷匡志委員

○神田まちづくりセンター

伊藤義弘氏、藤居徳昭氏

○事務局（生涯学習課）

課長代理 中川勇人、係長 平居美雪、主査 篠内亜美

○市民活躍課

課長代理 堤昭彦、係長 中嶋啓太、主幹 寺村定晴

II. 会議内容

（1）長浜のまちづくりセンターの役割について

（2）神田まちづくりセンターの見学・事例紹介

（3）まちづくりセンターアンケートの振り返り

■ A部会「まちづくりセンターのあり方を考える部会」

■ B部会「地域と学校の連携を考える部会」

（4）第4期 長浜市教育振興基本計画 素案

III. 会議次第

1 開会

2 あいさつ

委員長あいさつ

3 議事

（1）長浜のまちづくりセンターの役割について

・市民活躍課説明

（2）神田まちづくりセンターの見学・事例紹介

・神田まちづくりセンター説明

(3) まちづくりセンターアンケートの振り返り・部会活動

- ・事務局説明
- ・部会活動

【部会長まとめ】

- ・ A 部会「まちづくりセンターのあり方を考える部会」

公民館からまちセンへ移行したことで、営利活動が可能になった点はメリットである。しかし、実際には費用を徴収することが難しい状況が続いている。とはいえ、以前無料で行っていた事業でも、たとえ100円でも徴収していれば事業費の補填につながったのではないかと思う。今後は、この「営利活動が可能になった」という利点をもっと活かしていかねばと思う。

神田地域では将来への危機感から10年のまちづくり行動計画を策定したが、その目標を実現するためには、まちセンだけの力では限界があり、各団体との協力が不可欠である。しかし現状では、その各団体にどのようにアプローチしていくかが課題となっている。

- ・ B 部会「地域と学校の連携を考える部会」

子どもたちの見守りは非常に重要なポイントである。一つの学区に一つのまちセンがある地域は学校との連携が取りやすいが、そうでない地域では学校とまちセンのつながりをつくることが難しい。だからこそ、両者をつなぐコーディネーターの役割が重要なのではないかと考える。

まちセンを子どもたちの“居場所”とするためには、子どもたちへの対応や大人の見守り、保護者との関係づくり等課題がある。現代は個人主義的でつながりが生まれにくいか、うまく仕掛けをつくることで、子ども・地域・まちセンのつながりを深めていくことができるのではないかと考えている。

- ・委員長講評

まちセンのあり方として、営利活動が可能になった点は一つの強みである。しかし同時に、社会教育・生涯学習の事業をしっかりと行なうことも非常に重要である。

学校との関係づくりにおいては、身近な子どもたちとどう関わるかが大切であり、地域住民とまちセンがどのようにつながるか、連携のあり方が問われている。神田まちづくりセンターで実施している宿題応援などは、連携を深める一つの方法といえる。

通学合宿がなくなってしまったことは残念だが、湯田では大学生が復活に向けて動いている。こうした取り組みは非常に意義があり、工夫しながら続けていくことで、地域と子どものつながりは一層深まると考える。

- ・副委員長講評

まちづくりセンターと社会教育委員がどのように関わっていくかを考える必要がある。すでに主体的に活動している地域の方々に対し、外部が一方的に指示する形は望ましくない。私たちの使命は、地域の活動を支え、地域全体の活性化につなげていくこと

である。神田の取り組みは長浜市全体の標準というより、むしろ先進的であるという印象を受けた。こうした優れた事例を他のまちセンへ共有していくことが、長浜全体のまちづくりの質を高めることにつながるのではないか。

その観点から、まちセン全体を対象にアンケート調査を行い、現時点での長浜市の到達点をすべてのセンターで共有したい。各センターが互いに学び合い、それぞれの活動を一段引き上げるためのきっかけや情報を提供していくことこそ、私たちの大きな使命であると感じている。

アンケート結果を見ると、職員研修へのニーズは高いものの、実施できていない状況がある。特に「情報発信」と「地域ニーズの把握」については、どのように取り組めばよいか分からぬという声が多かった。

今後は、これらの調査データをもとに研修等を企画し、まちセンが地域の中核としての役割をより確かなものにできるよう、環境づくりを進めていくことが重要であると感じている。

（4）第4期 長浜市教育振興基本計画 素案

- ・事務局説明

3. その他・連絡事項

- ・社会教育委員会議の公開について
- ・青少年市民のつどいご案内

4. 閉会